

発言者	発言の要旨
山中係長	今回は市民準備会と職員研究会の合同開催である。 傍聴人の入室を許可したいと思う。
荒木会長	開会あいさつ 本日はまとめとして、提言書を仕上げていかなければならない。 事前に各委員の手元に配布されている提言書（案）の網掛けの部分について検討していきたい。 確認だが、提言書のまとめ方については、観光地のようにそのまちの特徴を前面に押し出していくのではなく、オーソドックスに進めていくという方向でよろしいか。
各委員	異議なし
荒木会長	冒頭部の「はじめに」の記述の中には、平均的な内容の中にもまちの良さを認識し、盛り込みながら策定していきたいという主旨を盛り込んでいる。
桑子主任	網掛け部については前回の市民準備会であがった意見である。 章ごとに確認していただければと思う。 まず、2ページの目次1・2・3の表記方法についてはいかがか。 「経緯：なぜ自治基本条例の策定が必要なのか」もしくは「なぜ自治基本条例の策定が必要なのか（経緯）」どちらがよいか。
荒木会長	最近「経緯：なぜ自治基本条例の策定が必要なのか」という表記方法が一般的である。 「経緯：なぜ自治基本条例の策定が必要なのか」という表記方法でよろしいか。
各委員	異議なし
桑子主任	続いて目次3の（1）①以前は「部会構成例」となっていたが、「部会構成案」と修正した。文章で補足を行った関係で変更している。 目次3の（4）②「市職員との関係」となっていたが、「市職員の参加」と変更した。この箇所については、8ページで詳しく記述している。市や市職員との関係については、内部でとどめ特に記述する必要はないのではという意見も出たが、組織が立ち上がってから、市に対しては市民と一緒に活動できる職員配置を願いたいということ、職員については、市民と一緒に勉強し、理解を深め、活動してほしいという希望を盛り込んでいる。
荒木会長	目次3の（1）①、（4）②の表記については、このとおりでよろしいか。
各委員	異議なし
荒木会長	続いて3ページ 1の（1）については、前回に出た意見を加えたということだが、このとおりでよろしいか。
各委員	異議なし
荒木会長	（2）についても、前回の意見を踏まえたということだが、この通りでよろしいか。 自主的なまちのあり方がよくまとまっていると思うが。
各委員	異議なし
荒木会長	（3）について事務局から説明を願う。
桑子主任	前半部の「協働のまちづくり」は会長からの意見であり、後半部については、前期基本計画の補足になっている。
荒木会長	キャッチコピーや計画については具体的に触れることが望ましい。 このとおりでよろしいか。
各委員	異議なし
荒木会長	4ページ（4）について事務局から説明を願う。

発言者	発言の要旨
桑子主任	<p>まず、3行目「担保する諸制度」の説明が必要なのではという意見があったが、これは条例の理念を現実的なものにする制度を差し、具体的には住民投票などがある。「規定」については「規程」の誤りであり、修正した。</p> <p>また、8行目では「市民のみなさん」という表記をしていたが、提言書全体を通して「市民」で統一した。</p> <p>10行目の「条例制定後も」という言葉は前回の意見を踏まえ、追加している。</p>
荒木会長	<p>「担保する諸制度」については、例は載せないということによろしいか。載せることで限定してしまうという恐れもあるため、載せない方がよいと思う。</p> <p>また、「条例策定後も」という言葉を追加することで、柔軟性を示すことができる。</p>
各委員	異議なし
谷川委員	<p>3ページ1の(1)1行目「上下・主従の関係」とあるが、地方自治法に主従の関係を示すような規定があったか。もしなければ、削除した方がよいのではないか。</p>
荒木会長	戦後の法律の基本からいうと、主従関係にはないはずである。
谷川委員	「国と地方自治体との関係は対等・協力の関係を強化する方向を目指し」という表現に修正してはいかがか。
各委員	異議なし
桑子主任	(3)について職員から「旧大井町」については、正式には「旧入間郡大井町」となるのではという意見が出た。
関根リーダー	一般的には町には郡がつく。市と郡が同列である。
山中係長	市長へ提言するものに、そこまで厳密に表記する必要があるか。一般的には、他の計画等でも郡まで入れていない。
荒木会長	<p>表現については、調査し、それから決定したいと思う。</p> <p>続いて5ページの2の(1)について、事務局から説明願う。</p>
桑子主任	<p>前回の指摘を受け、修正している。</p> <p>7行目の「はたらきかける」は「働き掛ける」と漢字表記に修正した方がよいと思うが。</p> <p>8・9行目のついては事務局で追加した。学識経験者を招いて話を聞いたり、進捗状況について専門的な見地から指導していただくことが必要ではとの考えからである。</p>
吉沢委員	11行目の「頂きたい」という表現に違和感がある。
桑子主任	今後立ち上がる検討組織にやっていただきたいという意味を含めている。
吉沢委員	「必要と考えます」という表現の方がよいのではないか。
荒木会長	<p>「～と思われまます。」「～と考えます。」という表現は、提言書として不適切であり、避ける必要がある。</p> <p>「必要になります。」という表現に修正してはどうか。</p>
吉沢委員	そもそも外部者に意見を求める必要があるのか。
荒木会長	決断に迷ったときは、外部者に意見を求めることも必要だと思う。外部者であれば、利害関係がないためである。
谷川委員	<p>策定の途中で意見を伺うことも必要だと思う。</p> <p>表現方法については、シンプルにする必要がある。</p>
荒木会長	2の(1)11行目は「必要です。」という表現に修正するというところによろしいか。
各委員	異議なし
石井委員	<p>2の(1)2行目に「唯一条件」とあるが、実際には「徹底的に議論をして条例案を策定していく作業に参加できる人」と「まちづくりに熱意のある人」と条件が2つ出ており、矛盾してしまうのではないか。</p>
荒木会長	それでは「唯一」を取ったらどうか。

発言者	発言の要旨
各委員	異議なし
小林サブリーダー	2の(1)8行目「招聘」という言葉が難しいので、「迎え」に修正してはいかがか。
各委員	異議なし
吉沢委員	先ほどの会長の意見にそって、2の(1)5行目の文末は「とします。」と修正した方がよいのではないか。
各委員	異議なし
荒木会長	また、2の(2)4行目の文末は「大切です。」と修正してはいかがか。
各委員	異議なし
小林サブリーダー	PRの方法例だが、職員以外にも市民を対象にした説明会を開催すべきでは。 チラシなどの他にも、直接市民と対面し説明する場が必要だと思う。
石井委員	市民向け説明会を開く際には、市職員にも参加してもらいたい。
荒木会長	「市民向けの募集説明会」を方法例に盛り込むということによろしいか。
各委員	異議なし
石井委員	募集をする検討組織のメンバーは、各団体からも選出を依頼するのか。
村上副会長	必要な団体への働き掛けは必要不可欠であると思う。
吉沢委員	働き掛けは誰がするのか。
荒木会長	働き掛けについては、事務局に依頼することになるだろう。 続いて6ページに移りたいと思う。まず、事務局から説明願う。
桑子主任	いきなり各部会を羅列するのではなく、まず部会を構成することの必要性について説明を加えた。
荒木会長	3の(1)①7行目の文末は「体制を整えます。」という表現に修正することによろしいか。
各委員	異議なし
吉沢委員	3の(1)①2行目「市民の意見をたくさん集め」の「たくさん」は削除してもよいのでは。
各委員	異議なし
菅井委員	検討組織には途中参加も可能か。
山中係長	検討組織の中で決めるべきだと思うが、途中からの参加もぜひ受け入れたいと考えている。転入の方もいるため。
荒木会長	では、柔軟に対応するということによろしいか。
各委員	異議なし
荒木会長	では、7ページ3の(1)②について、事務局から説明願う。
桑子主任	提言書の中では「条例案」という言葉を共通して使用したいと思う。
荒木会長	3の(1)②6行目文末の「考えます。」、10行目の「思われます。」という表現はいずれも「です。」という表現に修正してよろしいか。
各委員	異議なし
山中係長	先ほど、6ページ3の(1)①の7行目の文末について「体制を整えます。」という意見が出ていたが、整えるのはあくまでも今後立ち上がる検討組織が行うことなので、提言書としては「体制が必要です。」という表現にした方が適切ではないか。
各委員	異議なし
谷川委員	7ページの3の(1)②の7行目「条例案の主旨を変えることの無いよう」とあるが、この表現では、審議会での修正を縛ることになるので、「条例案の基本主旨を変えることの無いよう」と修正してはいかがか。 また、5行目、9行目の「余地」という言葉は曖昧なので、それぞれ「仰ぐこともある」、「関与させることが必要」という表現に言い換えてはいかがか。
各委員	異議なし
吉沢委員	7行目の「労力をかけて」という表現は削除してもよいのでは。
各委員	異議なし
西川課長	審議会については、設置という方向によろしいか。

発言者	発言の要旨
荒木会長	他市の状況を見ても設置しているところがほとんどである。評価するという意味でも設置した方がよいと思うが、いかがか。
各委員	異議なし
荒木会長	7ページ(2)について、事務局から説明願う。
桑子主任	以前にはPIの説明をしていたが、それを文章にまとめている。
荒木会長	3行目の文末については、それぞれ「必要です。」という表現に修正してよろしいか。
各委員	異議なし
小林サブリーダー	1行目「市民から広く意見を集めるという段階から市民検討組織が参加し、それらの意見を検討・調整し」とあるが、文章の構成上、「市民検討組織が市民から広く意見を集め、それらの意見を検討・調査し」と修正してはいかがか。
各委員	異議なし
吉沢委員	8行目の「目標値」とは何を意味するのか。
桑子主任	数字だけではなく、会議の目指すところを定めたいとの主旨も含んでいる。
荒木会長	量・内容の両方の意味があるのではないか。
山中係長	こういう意見を集めたいというのではなく、この内容について意見を集めたいという考えでいる。
石井委員	「分野」と表現してはいかがか。
荒木会長	集める際に必要なものとして、「目的や分野、評価等」と表現してはどうか。
各委員	異議なし
荒木会長	続いて8ページについては、いかがか。
谷川委員	(3) 2行目「様々な方法」とは具体的にはどんなものがあるのか。
山中係長	市議会についてだが、議会に関する部分は議会主体で策定してもらい、または検討組織から働きかけ盛り込んでいく等の方法が考えられる。
谷川委員	議会については、触れるべきだと思うが。
山中係長	条例案を可決するのは議会であり、今後議会との関係は慎重に考えていく必要があると思う。
西川課長	議会でも条例策定について独自で視察等を行っているという経緯がある。今後の議会との関わりについては、検討組織で決定するべきではないか。
荒木会長	確かに議会の自立性は守られるべきであり、このような表現にとどめるのがよいと思う。 (4) ①についてだが、市と検討組織がパートナーシップ協定を結び、対等関係というのであれば、文末の表現についてはもっと強く言い切っているのではないか。
桑子主任	言い切り型だと、市長に提言するという主旨と異なってしまっているのではないか。
谷川委員	1行目からは「市民検討組織は、～活動するものです。」と区切り、3行目以降の文末を「締結していくこととなります。」という表現に修正してはどうか。
各委員	異議なし
谷川委員	② 3行目の文末については、「お願いします。」は「期待します。」に修正してはどうか。
石井委員	市職員の自主的な活動は実際にあるのか。また、奨励した例などはあるのか。
小林サブリーダー	市職員の自主活動を支援する制度がある。補助金が出るかたちになる。
谷川委員	市職員には職務としてではなく、一市民として自主的に参加してほしいという思いがある。

発言者	発言の要旨
小林サブリーダー	職員研究会の中でもボランティアで参加するという意見も出た。ただ、モチベーションをあげるために、人事評価制度の評価に組み込んでいただく等の考慮をしてほしいという意見も出た。
西川課長	制服で出るのか、私服で出るのかという問題だと思う。私服で出る場合には、市民と行政の「協働」という点が薄らいでしまう心配もある。逆に市民検討組織が職員にどのような関わり方を望むのかにもよると思う。
荒木会長	財政危機を乗り越えることが行政の大きな課題だとも思うが、ふじみ野市でも今後必要な知識を身につけ、かたちにしていくことが大切ではないかと思う。いずれにせよ市職員に積極的に関わってもらうことは必要不可欠ということで、3行目の文末については「奨励することが必要です。」と修正してはいかがか。
各委員	異議なし
荒木会長	9ページについては、(5)の3行目の文末は「必要です。」に修正、また(6)のPR方法の表については「市民向け説明会」を追加するということでいかがか。
各委員	異議なし
荒木会長	10ページの図についてはいかがか。
松原主任 (職員研究会)	(7)の図について、先ほど審議会は設置という方向を確認したので、「※必要に応じて設置」という部分は削除してよいのでは。
各委員	異議なし
吉沢委員	市民検討組織と職員検討組織と一緒に活動するということでよいのか。
関根リーダー	市職員の中には自主的に参加する者、担当課の代表として出席する者、様々だと思うが、市民検討組織と一緒に策定を進めていくという考えでいる。
村上副会長	詳細については、実際に検討組織が活動し始めてから決定してもよいのではないか。
谷川委員	市職員が参加しやすくなるような要素を設置の際につくる内規の所掌事務の中に盛り込んでほしい。
石井委員	市民と市職員は別々ではなく、一緒に会議にも参加していくという内容を提言書に盛り込めたらと思うが。
小林サブリーダー	会議の進め方について、市民と市職員の関わり方については事務局としてはどう考えているのか。
桑子主任	会議などについては同席で進める方向で考えている。
荒木会長	詳しくは今後決めていくということで、提言書に盛り込む必要はないと思うがいかがか。
各委員	異議なし
荒木会長	提言書全体を通して、その他意見があれば伺いたい。
吉沢委員	5ページの2(1)10行目の「子どもたち」の表記だが、「子どもたち」とした方が一般的ではないか。
各委員	異議なし
西川課長	先ほども話に出た3ページ(3)の「旧大井町」の表記についてだが、区域としては郡を入れるようだが、市内向けのものであるため、シンプルに「旧大井町」でいいのではないかと思うが。
各委員	異議なし
荒木会長	提言書全体について、その他特に意見がなければこれで決定としたいと思うがいかがか。
各委員	異議なし
桑子主任	検討組織のメンバーを募集するためのチラシについては、いかがか。
谷川委員	考える人のイラストについて、もう少し明るいイメージのものになればと思うが。

発言者	発言の要旨
井口委員 (職員研究会)	募集方法のそばに問い合わせ先を載せた方がよりわかりやすくなるのではないか。
桑子主任	増刷する際には、配慮したい。
村上副会長	実際の募集方法はどのようなものを考えているのか。
桑子主任	問い合わせをしていただいた方について名簿を作成し、各施設にも募集チラシを置く等したいと考えている。
吉沢委員	チラシについては、6月21日の朝までに訂正等の意見を寄せてほしいとのことだったので、たくさん意見を寄せたが、ほとんど反映されていない。どういうことか。
山中係長	その件について、結果を吉沢委員に報告しなかった点については大変申し訳なかった。 「皆さんの意見を出してまちのあり方を決めていきましょう」という表現については採用させていただいた。 その他に「興味のある人に向けて募集するものなので、チラシの内容をもう少しふみこんだものにすべき」というご意見だったかと思うが、事務局としてはこれまで活動経験がない市民を含め広く募集をしたいと考えており、その点については反映させていない。ご了承いただきたい。
桑子主任	啓発品についてはいかがか。
関根リーダー	選挙の啓発品などの例からいっても地の色がある方が目立つと思う。
桑子主任	「市民が決める まちのあり方」という字に比べ、「自治基本条例」という字が小さいので、逆にした方がよいという意見も出ている。
荒木会長	今後の段取りについて、事務局から説明を願う。
桑子主任	各委員おそろいで、提言書の内容が決定したところで、本日市長へ提言を行いたいと思うがいかがか。
各委員	異議なし
荒木会長	《市長へ提言書を提出後》 皆様のおかげで無事に提言を行うことができた。感謝申し上げたい。
桑子主任	語句の訂正等があれば、6月30日までにご意見いただきたい。 また、10ページ(7)の表の囲みについては白抜きか黒字かで統一したいと思う。 啓発品へのご意見は6月28日までに伺いたいと思う。
西川課長	今後、市民検討組織の立ち上げまで、また立ち上がった後に策定を進める課程でも皆さんにはご協力いただくことになると思うが、どうぞよろしくお願いしたい。
荒木会長	では、本日は閉会とする。